



豊玉二中だより

令和2年度 第1号
発行日 4月14日(火)
練馬区立豊玉第二中学校
校長 神山 信次郎

新年度を迎えて

校長 神山 信次郎

春の到来を感じさせる穏やかな気候の中、新学期がスタートしました。お子様のご入学、ご進級おめでとうございます。この春休みお子様はどのように過ごされたでしょうか。2、3年生には始業式で、皆さんひとりひとりが「この一年をどのような一年にするか」決意や目標をたて、しっかりと取り組んでほしい。この一年を振り返った時にそれぞれが「こんなことを頑張った」と言えるような一年間にしてほしいという話をしました。3年生は自らの進路に向けて大切な一年になります。これからの人生の分岐点と言ってもよいのかもしれませんが。自分の適性を十分理解し、目標に向かってしっかりと努力をし、悔いのない年にしてもらいたいと願っています。2年生は中堅学年として勉強や行事や部活動に豊玉二中の中心として活躍する立場になりました。今年の後半には豊玉二中の屋台骨を支える大切な役割を担うこととなります。これまでの卒業生や3年生が築いてきた伝統をしっかりと受け継ぎ、その責任をはたしてもらいたいと願っています。

令和2年度は、84名の新入生が入学しました。全校生徒208名の生徒たちの在籍となりました。学級数は1年生が3学級となり、7学級の編成となりました。今年度も活気ある充実した豊玉二中の生活をしてもらいたいと願っています。本校の教育目標は「正しく判断し行動できる人」「健康で実行力のある人」「広い心で思いやりのある人」です。この目標には本校の生徒たちに、人の気持ちを理解し、思いやりをもった人、様々な知識を身に付け活用する力を身に付ける人になってもらいたいという願いがあります。本校では授業や行事、生徒会活動、委員会活動、部活動などの充実を通して生徒の力を発揮できるように努めています。全校生徒の皆さんもそれぞれの良さを十分発揮し、自ら光り輝く中学校生活を過ごしてもらいたいと願っています。

4月は出会いの季節と言われます。この出会いを大切にして、自分のさらなる成長を目指してほしいと思います。